



現場第一 提案でリード

田中かつひこ

「野党は共闘」一県民の願いうけ県議会でも 共同に努力

安倍政権を倒すために「野党は共闘を」との県民の願いをうけ、県議会でも安保法制廃止や森友・加計問題の真相解明など求める国政野党共同での意見書提案も連続的に。また、節目では、共同での街頭宣伝をおこなうなど、地域での野党共闘前進に力をつくしてきました。

加計問題の真相解明は政治の信頼回復に不可欠



麻布大学獣医学部を視察(18年1月)

獣医学部の開設をめぐり安倍晋三首相が関わって政治がゆがめられた疑いの「加計学園」問題は、証人喚問などを拒否する安倍政権によって、解明が尽くされないまま越年しました。愛媛県民に土地代37億円+補助金96億円という負担がかかる問題で

あり、絶対にあいまいにできません。引き続き徹底究明すべきです。

県議会論戦で解明に近づく努力

田中県議は、国内の獣医学部も視察。「獣医学の質」についても意見交換したうえで質問。補助金支出について、理事者側も補助金支出を「見直すこともあり得る」との答弁を引き出し、地元マスコミも『開学後もチェック必要』と指摘しました。

県民世論におされ全会一致で決議

田中議員らの論戦、県民世論、「愛媛県文書」の国会提出などにより、補助金支出に賛同した自民2会派もふくめて加計学園にたいし「説明をつくすよう」求める決議を全会一致で採択。加計理事長の再記者会見に追い込みました。

学生のためにも、事実解明が急務

将来、獣医師を志す学生に何の罪もありません。学生が誇りをもって学び、獣医師として社会に貢献できる道を切り開くうえでも、真相の解明は不可欠です。補助金支出を凍結し、事実解明を急ぐよう求めます。



加計問題で文科省、内閣府に要請

エアコン設置「体育館へも」一保護者、教員、子どもたちの願い実現に道

昨年夏の猛暑で普通教室へのエアコン設置が問題に。県知事選でも大きく取り上げ世論となるなか、国も乗り出し、県下でも今夏までに小中学校の普通教室への設置が大きく前進。田中県議は同時に体育館へのエアコン設置についても提起。県教委も「体育館への設置も必要」とし、検討をすすめることに。

学生のブラックバイト解決へ一国・県のとりくみ促す

県議会ではじめてブラックバイト問題をとりあげた田中県議。国へもブラックバイト調査を求めるなかで、全国でも少ない、愛媛大学や松山大学など地元大学でのアルバイト調査を実現、国や県が、学生への相談会や講座開催も広がっています。



労働局に申し入れる田中県議。学生への相談会 講座開催が実現

また、県議会でも「若者の使い捨てが疑われる企業等への指導監督の強化等を求める意見書」が全会一致で採択されました。

安全、子育て、環境守る願い… 議会でもとりあげ実現へ

- 通学路の安全対策を提起。危険箇所総数は859カ所(昨年9月末現在)を把握しており、「対策可能なものから順次整備する」。
- どこに住んでいても安心して出産できるように周産期医療体制の充実を提案。知事も、少子化対策につながる重要な課題として「必要な対策をもちこみたい」と答弁。
- 国際社会から遅れている日本政府の温室効果ガス削減目標。委員会審議などもふまえ、国目標を上回る県の温室効果ガス削減目標が策定されました。

県民運動と共同で 政策前進

